

<シンポジウム：合併と自立の検証>

- 今、長生郡市で、茂原を中心とする合併話が進行しています。
合併すると、財政支出を削減できるという分析もあります。しかし、一方では、「合併は失敗だった」、「合併しない方がよかった」という声も聞こえてきます。合併して10年ほど経過した先行自治体では、当初の目的とは異なる結果になったという事例も報告されています。
- 自立では、やって行けないのでしょうか？
いままでの発想と手法を変え、行政改革と情報公開、住民参加を積極的に進めた結果、実際、これまでより質の高いサービス水準を確保できた自治体もあります。
- 合併か？ 自立か？
これは、私たち長生郡市の住民の生活を、そして子どもたちの未来をも左右する とても大事な選択です。 今もう一度、原点に立ち返って、長生郡市のゆくえについて考えてみる必要があるのではないのでしょうか？
- 「合併」、「自立」を検証します。
「未来の上総一宮をつくる会」では、下記の方々にお越しいただき、シンポジウムを開催いたします。
◆ 都留文科大学講師 ^{いっこう}大和田一紘 氏 / ◆ 京都大学教授 岡田知弘 氏
◆ 総務省自治行政局合併推進課課長補佐 ^{ひろたか}下仲 宏卓 氏
◆ 福島県^{やまつりまち}矢祭町前町長 根本良一 氏 / ★ 司会：東京大学准教授 中島 隆博 氏

平成の大合併のモデル市で、長生郡市からも視察に赴いた東京都あきる野市、京都府京丹後市の 合併後の現状、日本で最も早く自立宣言をした福島県矢祭町の歩み、そして合併を推進する総務省の立場から、市町村合併の目的とその成果について、大いに語っていただきます。
- 自分たちの未来、ふるさと長生郡市の行く末を考えると、
最も大事なことは先行事例に学ぶことです。お招きする方々のお話から、長生郡市がいかなる道を歩むべきか、大いに学ぼうではありませんか！ そして、ともに学んだ知恵を、これからの長生郡市の未来のため活かして行こうではありませんか！！

<シンポジウム：合併と自立の検証> に、ぜひともご参集ください！！

※なお、当日は質疑応答の時間を用意していますが、講演者の方々にお訊ねになりたい事柄がございましたら、メール、FAX、または郵送で7月10日までにご連絡下さい。
〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 3604-1 馬淵 昌也（学習院大学教授）
メール： 19960489@gakushuin.ac.jp
FAX： 0120-124-125（フリーダイヤル）